

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

5- I -1

5- I -1

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	関連文化・産業との統合的な情報発信
節	I.佐渡金銀山のブランドイメージの確立	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	1 関連文化・産業との統合的な情報発信	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市地域振興課、佐渡市社会教育課、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山と関連する文化や産業とのつながりを分かりやすく伝え、佐渡金銀山に対するイメージの幅を広げていく。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山に関連する文化、産業等をパンフレットやホームページ等の各種広報媒体を通じて統合的に情報発信する。 		
事業計画と実績	<p>【R2年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「佐渡さんぼ」など観光パンフレットについて内容の更新を進める。(佐渡金銀山関連の特集記事掲載時、ライトアップされた北沢浮遊選鉱場やまち歩きイメージ図も掲載し、関連文化のつながりも楽しめる内容にするなど) ● 広告掲載時に「さど観光ナビ」へのリンクを掲載し、サイトへの誘導を図る。 <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光パンフレット「佐渡さんぼ」60,000部を作成。その中で金銀山特集記事を設け、関連するコンテンツを紹介した。 ● 県内のタウン誌やLCCの機内誌で世界遺産に関連した特集を掲載した。 ● 旅行商品「つながった」下越佐渡 広域連携旅行商品で佐渡金銀山をPRした。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍での自粛で、紙面媒体の有効性が薄れてきている。今後は別のタッチポイントを用意する必要がある。 ■ 情報発信が実際の消費につながっているかの評価ができていない。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルパンフやオウンドメディアでの特集記事等、webで読ませる媒体を充実させると共に、そのページに誘導するための広報を実施していく。 ■ 情報発信が購買に繋がっているかを確認するためのCRMの導入を検討する。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a ・ b ・ c]</p> <p>◇概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a ・ b ・ c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A ・ B ・ C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。